

## 取組状況 (1)

### 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

#### 河川流下能力向上計画策定 (平成29年3月) 【山形県】

～山形県の県管理河川の流下能力を向上させるため堆積土砂対策・支障木対策の実施計画を策定～

山形県では、地球温暖化に伴う局地的な集中豪雨の増加や、河川内の経年的な堆積土と支障木の増加に伴う河積阻害の拡大等により、洪水に対する危険性が年々高まっています。

このため、経年的な堆積土と支障木の撤去が必要な箇所の優先度を定め、効果的かつ効率的に流下能力の維持・向上を図ることを目的として、本計画を策定しました。

■ 計画期間 平成29年度～平成33年度

■ 計画対象 県管理河川のうち160km (約190箇所) を対象

#### 阻害要因別の対策パターン

阻害要因別の対策パターン

①主に小規模河川で堆積土と支障木が河積を阻害している箇所

堆積土の撤去に併せて支障木の除根も行う。

堆積土撤去 支障木伐採・除根



②主に中規模河川で高水敷等の支障木が河積を阻害している箇所

支障木の伐採のみでは根が残り、5年程度で樹木が再生するため、対策が困難な中州や、河川の構造上、弱点となる屈曲部、橋梁部では、併せて除根も行う。

支障木伐採



③主に中規模河川で低水路の堆積土が河積を阻害している箇所

堆積土の撤去にあたっては、全量の掘削は行わず、自然環境や浸水利用にも配慮する。



④上記②③の要因が合わさり河積を阻害している箇所

②③の対策を組み合わせて実施する。

詳細は山形県ホームページへ <http://www.pref.yamagata.jp>  
組織で探す> 県土整備部 > 河川課 > 河川管理 > 「河川流下能力向上計画」の策定について

## 取組状況 (2)

### 避難勧告の発令に着目したタイムライン

#### トップセミナーを開催【山形河川国道事務所】

～大規模洪水時に執るべき対応を市長・町長と確認～

関係市町・県・国の減災に係る取組状況の共有に加え、昨年北海道や東北地方を襲った豪雨災害を踏まえた減災対策の県管理河川への拡大など、今後の取組みについて共有しました。

また、全国で始めて自治体としてタイムラインを導入した三重県紀宝町より、豪雨災害を契機に人命を守る仕組み作りを導入した自らの経験や教訓について、ご講演をいただきました。

#### 【最上川上流 トップセミナー】

■ 日時 5月23日 (火) 15:30～17:15

■ 場所 ヒルズサンピア山形

■ 出席者 減災対策協議会 計55人

・ 県内20市町、山形県、气象台、国交省

■ 内容 水防法改正の概要、県管理区間への拡大、各機関における取組状況

講演 「事前防災行動計画 (タイムライン) による防災対応」

三重県紀宝町 特別参与・危機管理監 新元明生氏



▲ トップセミナー開催状況 (H29.5.23 ヒルズサンピア山形)



▲ 紀宝町 新元明生氏による講演

**羽越水害50年行事 巡回パネル展【羽越水害50年実行委員会】****～8月26日「最上川防災講座in南陽を目指し巡回中!～」**

『水害から身を守る』をテーマに巡回パネル展を行っています。8/26(土)『最上川防災講座in南陽』の会場であるシェルターなんよう(南陽市文化会館)を目指し最上川上流流域20市町をリレー方式で巡回展示しています。

パネルは、羽越水害の当時の写真のほか、水害から命を守るために今伝えなければいけない事柄を厳選し、簡素な言葉と写真を多く使い作成しています。

お近くを巡った際はぜひ足を伸ばしていただき、家族で、そしてご友人と防災を考えるきっかけ、そして“いざ”というときの迅速な避難行動に繋がればと思います。



4/24朝日町から山辺町へバトンタッチ



天童市ゆびあでの展示状況



各会場毎に“最上川カード”を配布しています。

**こどもまち歩き【南陽市・山形県・山形河川国道事務所】****～洪水ハザードマップを活用した出前講座～**

南陽市立赤湯小学校の4年生78名が、洪水から身を守るために出来ることについて、5月から全5回の防災講座を行っています。羽越水害などの洪水の怖さを知ることから始まり、洪水ハザードマップを手にもち歩き、水害に備える知識と理解を深めています。

また、この一連の学習では量1枚30mmの雨の重さ体験や、身近な物を使い水を防ぐ「水土のう」づくり体験などを、楽しく学べる体験型の学習を行っています。

この学習の内容と学習を通して感じた事などについて、8/26(土)最上川防災講座in南陽で発信する予定です。



水の重さ体験



羽越水害について学びました

**編集後記**

いよいよ本格的な出水期が近づいてきました。

各関係機関では、出水時に即時の対応が出来るよう施設の点検、体制等に万全を期しております。

このGensai.Netを読まれている皆さんも含め、総力を挙げて今年の出水期を乗り切りましょう。